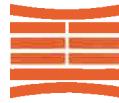


No.  
20

多摩美術大学校友会  
会報 [アルティ]  
2014



al

校友会も来年で  
いよいよ20歳

発行: 多摩美術大学校友会  
〒192-0394 東京都八王子市郷水2-1723  
Tel: 042-676-0802(直通) | Fax: 042-676-0827



多摩美術大学校友会

2014  
多摩美

## Cover Story

## 多摩帝国美術学校の入学式

多摩美術大学の前身、多摩帝国美術学校の設立は1935(昭和10)年のことでした。帝国美術学校の分裂によって吉祥寺から上野毛の地に移転し新たに出发したのです。今井兼次設計による校舎は、木造2階建、外壁は下見板にステインで茶褐色に塗られ、白い窓枠がとても印象的でした。その北欧山荘風のデザインがとても誇らしく毎日登校するのが楽しみだったと当時の学生は書き残しています。現在の上野毛キャンパス本館玄関前とこの写真とは随分様相が異なります。大きな違いは、1964年(東京オリンピック開催の年)に環状八号線の拡幅工事によって多摩美の前庭が大きく削られたことでしょうか。多摩帝国美術学校のキャンパスは120人の学生たちが勢揃いしても広々としていて緑豊かなうらやましい環境です。ただ画面右の女子学生たちは明るい服がちらほら見られるのに、男子学生全員が学生服を着ているのが気になります。多摩美は科別に色分けされたネクタイにブレザーが制服だったのです。開校して翌年の募集人員は西洋画科60名、日本画科15名、図案科30名、彫刻科10名でしたが、1941(昭和16)年には西洋画科30名、日本画科10名、図案科20名、彫刻科10名と大幅に減少しています。のんびりしたキャンパス風景にも戦争の影が忍び寄ってきています。

資料提供：多摩美術大学史編纂室

多摩美術大学校友会

会員数：40,800人

## ごあいさつ

副会長：

齋藤 敦子 ('91 ID)



夏から秋にかけて、度重なる台風や御嶽山噴火など自然の脅威を感じざるを得ない年となりました。被害に遭われた方々やご家族、関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、世界に目をむけても伝染病や戦争、政情不安などのニュースが駆けめぐっています。不安的で複雑な世の中において「芸術」そして「つながり」の力は重要です。芸術は人間の心や文化面を支えるだけではなく、既成概念を壊すイノベーションとしても期待されています。例えば過疎地域がアートによって活性化したり、科学者が絵画に影響を受けた例は少なくありません。多摩美術大学校友会の約4万人の卒業生がつながることで、小さな社会変革も起こせるかもしれません。

校友会は地域に根ざした25の支部と学内外幹事・理事、そして全ての卒業生によって成り立っています。今年の総会では幹事や会員の皆様から厳しいご意見も頂きました。校友会員も4万人規模と大きくなる中で運営の見直しが必須となってきています。2015年には多摩美術大学が80周年を迎えると共に、校友会も20周年となります。記念すべき年に向けて一新して参りますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

## [新役員紹介]



[新任理事]

庄山 晃 ('69 演技・演劇)



[新任理事]

山本 博子 ('74 GD)

## [退任理事]

長い間お疲れ様でした。退任された理事の方々には、任期中はお忙しいにもかかわらず、校友会活動にご尽力いただきまして、大変お世話になりました。深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。これからも一校友会員としてご支援いただければ幸いです。宜しくお願い致します。

岡田忠明 ('75 日画) 会長／松下宣廉 ('69 日画) 監査／野村辰寿 ('87 GD) 理事

## [平成26年度(2014年)役員構成(第7期～2年目)]

五十嵐威暢 ('68 GD) 名誉会長＊／東海林隆 ('57 図案) 顧問／鶴見雅夫 ('59 油画) 顧問  
上田雄三 ('76 GD) 副会長／齋藤敦子 ('91 ID) 副会長／寺内隆 ('72 ID) 副会長＊／  
森博美 ('76 D) 監査／柏木弘 ('81 染織) 事務局長＊／森長俊六 ('79 彫刻) 支部長・理事／  
津田祥夫 ('64 国画) 理事／児嶋真作 ('70 GD) 理事／植村博 ('71 彫刻) 理事＊／  
天野純治 ('75 油画) 理事／岡田真智子 ('75 GD) 理事／野田裕示 ('76 油画) 理事＊／  
村岡淳一 ('79 建築) 理事／青木栄二 ('80 GD) 理事／今泉善雄 ('82 日画) 理事／  
川越三郎 ('82 彫刻) 理事／小林光男 ('82 ID) 理事＊／相馬千賀 ('82 染織) 理事／  
水上嘉久 ('83 彫刻) 理事＊／小野範子 ('84 油画) 理事／武田州左 ('85 日画) 理事＊／  
杉浦充 ('94 建築) 理事／矢野英樹 ('94 ID) 理事＊／庄山晃 ('69 演劇) 理事＊◎／  
山本博子 ('74 GD) 理事＊◎

＊印は学内職員立　◎印は新任理事

## ホームカミングデー 2014

## ガーデン同窓会

多摩美術大学  
Tama Art University

2014年6月7日(土)昨年に引き続き、八王子キャンパスに於いて「スペシャル・トーク・イベント」・「校友会総会」・「ガーデン同窓会」の三部構成からなる「ホームカミングデー2014」を開催いたしました。今年は生憎の天気の中での開催となりましたが学生を始め教職員の方々にもご参加いただき、終始和やかな雰囲気でした。3年目となったトークイベントも多くの方にお越しいただき、立ち見が出る程でした。また、運営にはたくさんの学生の方にスタッフとしてご協力いただき、大変有意義な時間となりました。





## 支部支援について

- 多摩美術大学校友会が設立された1995年以前から、日本各地で活躍する卒業生の集まりである「多摩美会」がありました。1991年に設立した広島に続いて、1995年までに愛知、佐賀、北海道、新潟、長野に多摩美会ができ、近くに暮らす同窓生が集まり展覧会等を通じて活動を行ってきました。1995年に校友会が設立した後は、校友会支部という位置づけも加わり、今日では国内21道府県の支部、海外の3支部と多摩教育の会を含めて25支部が登録されています。支部の規模や参加者の人数はまちまちではありますがそれぞれのルールに従った独自な活動を通して親睦を深め、芸術文化の発展に寄与しています。

支部支援に関しては当初、申請のあった支部に対して年間上限5万円の支援を行っていましたが、その後、支部コンペティションの実施など支援方法の改善を試みた経緯もありますが、現在は昨年度から刷新された支援制度を実施しております。6月の支部長懇談会でいただいた

新制度に対する多くのご意見やご指摘を活かして、より良い制度になるように努力してまいりたいと思っております。

来年は校友会設立20周年、多摩美術大学創立80周年を迎える記念すべき年になります。2015年10月10日(土)には八王子キャンパスで記念式典や各種イベントが行われる予定です。母校を日本全国、世界からお祝いできるよう、来年度は校友会支部支援を強化し、多摩美ネットワークを広げて行きたいと考えております。

お住まいになっている地域の支部活動へ参加を希望される方は校友会事務局までお気軽にご連絡ください。

(校友会事務局電話番号 042-676-0802)

### 【支部長交代】

愛知支部 支部長 石田琴次さん('60油画)が昨年ご逝去されたため、新支部長 御開章さん('97版画)に交代されました。

## 支部活動記録



※「関西支部」は、大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山の6支部が合同になりました。

【愛知支部】第9回 多摩美愛知の会展  
実施日：2014年7月19日(土)～7月27日(日)  
会場：ギャラリータマミジアム

【神奈川支部】Birthplace Art 2014  
-Tama Art University in Kanagawa-  
実施日：2014年10月13日(月)～10月19日(日)  
会場：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA



【関西支部】多摩美術大学同窓会関西第4回総会  
実施日：2013年11月9日(土)  
会場：大阪中之島公会堂



【群馬支部】ぐんま 群馬支部主催  
多摩美オープンキャンパス見学会バスツアー  
実施日：2014年7月20日(日)  
会場：多摩美術大学八王子キャンパス



【静岡支部】静岡支部総会  
実施日：2014年8月10日(日)  
会場：サールナートホール2F



【多摩教育の会】多摩教育の会総会及び実技講座  
実施日：2014年8月5日(月)  
会場：多摩美術大学八王子キャンパス



【台湾支部】TMT2014多摩美術大学校友会  
台湾支部及び都蘭芸術家聯展  
実施日：2014年3月9日(日)  
会場：純都蘭芸術空間



【千葉支部】第17回 千葉多摩美会展  
実施日：2014年6月20日(金)～25日(水)  
会場：ギャラリー睦



【新潟支部】第7回 新潟多摩美展  
実施日：2014年7月5日(土)～7月13日(日)  
会場：新潟市美術館市民ギャラリー  
同日開催：第10回 新潟校友会支部総会



【ニューヨーク支部】  
HOME AWAY FROM HOME X 展  
実施日：2014年9月17日～9月30日  
会場：TENRI CULTURAL INSTITUTE OF NEW YORK



【広島支部】2014 多摩美展  
実施日：2014年10月2日(木)～10月14日(火)  
会場：ぎゃらりい宮里



【福岡支部】第20回 多摩美術大学校友会  
福岡支部総会  
実施日：2014年7月21日(日)  
会場：木曾路天神店



【福岡支部】福岡支部小品展  
実施日：2014年9月21日(日)  
会場：山本文房堂画廊



【北海道支部】北海道支部交流会  
実施日：2014年8月7日(木)  
会場：旧札幌ビル倉庫 札幌ピアカラ

### 支部活動 今後の活動

## 東北支部 小品展

多摩の流れのように……

【東北支部】東北支部小品展 多摩の流れのように……  
実施日：2014年11月11日(火)～16日(日)  
会場：仙台サーブ Bスペース

## 信楽へ 行こう！

11月27日(木)雨天決行

【関西支部】信楽へ行こう！  
多摩美術大学同窓会関西 見学企画第1弾  
日程：2014年11月27日(木) 雨天決行  
参加費：一人5,000円(昼食費含む)  
集合場所：信楽駅前大狸

## 校友会奨学金制度

校友会には二つの奨学金制度があります。私費留学生が対象で研究室の推薦制（輪番制）による「校友会私費留学生」と、全学年が対象で企画書と応募計画書による応募形式の「校友会奨学生」です。例年6月頃募集要項を発表しますので、在学生の皆さま、是非ご応募ください。

### 〔平成26年度応募数〕

計38名（美術学部20名+造形表現学部4名+大学院14名）

### 〔平成26年度校友会奨学生 選考委員会〕

武田州左（日本画）  
野田裕示（油画）  
天野純治（版画）  
水上嘉久（彫刻）  
小林光男（工芸）  
山本博子（GD）  
寺内隆（PD）  
柏木弘（TD）

田淵諭（環境D）  
須永剛司（情報D）  
吉國元（造形油画4年）  
渡部未乃（大学院油画1年）  
杉田早紀（大学院版画2年）  
齊藤隼人（PD4年）  
富士榮宏将（環境4年）  
西牧あかね（大学院TD1年）  
諸星厚希（映演映像3年）



### 〔平成26年度校友会奨学生〕

川副麻里子（日画4年）  
畠山太志（油画4年）  
小林さとみ（油画4年）  
吉國元（造形油画4年）  
渡部未乃（大学院油画1年）  
杉田早紀（大学院版画2年）  
齊藤隼人（PD4年）  
富士榮宏将（環境4年）  
西牧あかね（大学院TD1年）  
諸星厚希（映演映像3年）

### 〔平成26年度校友会私費留学生〕

HAN JUNGMIN（韓国大学院油画1年）  
JIN Muzhi（中国大学院版画2年）  
YEN Ying-Chen（台湾工芸3年）  
KIM Eun gun（韓国大学院環境2年）  
Ki Hoi Lun（香港大学院芸術1年）



## 企画助成「おとのな奨学金」(旧会員グループ支援)

卒業後も意欲的に芸術活動に励んでいる校友会員を支援するプログラムです。平成22年度よりスタートし、昨年より「おとのな奨学金」と名前を改めました。助成の対象となるのは、広く社会において「芸術文化の振興・発展」に寄与する校友会員が5名以上所属する非営利団体（代表者は正会員）とします。事業企画についての展覧会・セミナー・講演会・ワークショップ・発表会、

出版・映像・舞台等会員の創作による発表活動が該当します。

来年度の募集は、来年春発表とします。応募についてのご質問は、お気軽にお問い合わせ下さい。以下は本年度助成制度をご利用いただいたグループの皆様方です。平成26年度校友会「おとのな奨学金」は選考の結果、下記の5グループが助成となりました。

### ちゃかほい会(多摩美寮友会)

代表者：田中忠一（'54油画）  
「第5回ちゃかほい展」  
会期：2014年10月7日-14日  
場所：ギャラリー大和田（渋谷区桜丘）  
助成額：55,000

01

### 友・悠・遊

代表者：谷口光延（'61図案[平面]）  
「友・悠・遊」  
会期：2015年3月27日-4月2日  
場所：山脇ギャラリー（東京都千代田区九段）  
助成額：55,000

02

### らぶ・まん

代表者：霍見ふみや（'11映像演劇）  
「らぶ・まん第2回トラック公演『嗚呼、じょっぱり純情』」  
会期：2014年9月22日-24日  
場所：駒沢オリンピック公園中央広場  
助成額：45,000

03

### ニューヨーク支部10周年記念本出版委員会

代表者：小倉千恵（'88油画）  
会期：2014年9月  
ニューヨーク支部設立10周年を記念しての本を出版  
助成額：90,000

04

### 映画「tig☆hugちぐはぐ」上映実行委員会

代表者：奈良間茂（'71GD）  
会期：平成26年8月10日  
場所：サルナートホール（静岡県静岡市）  
助成金：32,220

05



岩本夏樹（'13GD）



岡田育美（'12版画）



富田菜摘（'09油画）



鈴木瑞（'10造D）



山本恵海（'13彫刻）



石井麻理絵（'04院油）

## 多摩美術大学校友会

### 小品展 2014 チャレンジ賞

校友会では、作品販売を目的としたチャリティ展覧会を毎年12月に開催しています。今年は17回を迎えることができました。昨年に引き続き今年も「校友会奨学金基金」、「アート分野における東日本大震災義援金」への寄付目的に実施いたします。又、2009年より開始した若手クリエイターの発表を支援する活動、「チャレンジ賞」を今年も実施します。この「チャレンジ賞」は、個展開催時のDM印刷代及び郵送経費として5万円を授与し、校友会ホームページでの開催告知、更に事務局に送付されたDMを事務局より、関連する卒業生100名程度に発送します。会場来場者の投票結果と校友会により「チャレンジ賞」が選考されます。皆様奮ってご来場・ご投票下さい。今年は11月30日（日）-12月6日（土）まで、昨年に引き続き、神田神保町の文房堂ギャラリーにて開催いたします。

### 〔校友会小品展2013のご報告〕

出品者：196名、来場者：311名、

参加作品点数：429点、販売作品数：136点、

期間中売上：946,600円、会場：文房堂ギャラリー

上記売り上げの内、50%を作画料として作者に、25%を奨学金基金に組み入れ、25%を「東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド（GBファンド）」（公益社団法人企業メセナ協議会）への支援金として使わせて頂きました。チャレンジ賞は、応募者25名中、左記6名が受賞しました。

岩本夏樹（'13GD）・山本恵海（'13彫刻）・鈴木瑞（'10造D）・  
石井麻理絵（'04院油）・富田菜摘（'09油画）・岡田育美（'12版画）

06

## 校友会ホームページを ご活用ください



卒業生の情報を待ちしております！



●多摩美術大学校友会ホームページ

<http://www.tamabi.ac.jp/alt>

校友会ホームページでは、校友会会員（卒業生・教職員）、準会員（学生）の個展・展覧会・イベント情報等を掲載させて頂いています。情報を事前（少なくとも開催1ヵ月前-2週間前までぐらい）にお知らせください、受付は随時行っております、住所変更を含む個人情報の変更もホームページから可能です。申請書類等も今後ホームページからダウンロード出来るモノが増えるよう改善してまいります。ご希望の方はお気軽に事務局にお声掛けください。

### 【個人情報の変更】

個人情報の変更是こちらから行うことができます。フォームに入力するだけで住所変更の手続きができます。お引越しなどで住所が変更になった際は、是非校友会までお知らせください。

### 【展覧会・イベント情報の募集】

展覧会、イベント、出版、受賞などの情報掲載は、こちらから行うことができます。フォームに必要事項をご入力ください。画像の添付も可能です。

### ※パソコンを使用されない方、ホームページをご覧になれない方

〈個人情報の変更〉〈展覧会・イベント情報〉は、ハガキ、電話、Eメールでも受け付けております。〈展覧会・イベント情報〉は、DM 1枚を校友会事務局にご送付いただければ、画像と文字情報をホームページ上に掲載します。必要事項を明記のうえ、お知らせください。

07



# だまえあーとだいがく

多摩美術大学校友会 出前アート大学

出前アート大学では、日本全国の小学校へ、卒業後社会で活躍する卒業生のクリエイターと共に美術・デザインの授業を出前しています(スタッフは全て卒業生・在学生です。)これからも、多摩美術大学校友会ならではの特性を活かして、社会に貢献したいと考えています。授業No.046~047までをご報告いたします。

## [今後の予定]



三宅 信太郎 ('96版画)

2015年1月30日(金)にNo.048 宮城県白石市立大平小学校・講師:三宅信太郎('96版画)での授業を予定しております。お近くの方、ご興味がある方は「出前アート大学」の授業を見に来て下さい。授業の進捗状況は随時、出前アート大学ホームページのブログにてご紹介しております。また、出前アート大学ではコーディネーター及びスタッフを募集中です!

ご興味のある方は事務局までご連絡ください。



## No.046

### 「空想の生き物をつくろう!」



#### 児童感想:

色を混ぜたり塗ったりするのが大変だった。細かいパーツを組み立てるのが難しかった。

#### 先生感想:

子ども達の思いや考えを大切にしながら親しみをもって制作に関われたことがとても良かった。

#### 講師感想:

私は決めていました。当日、事前に送ったビデオレターと同じTシャツ姿で登場しようと。11月の東北、半袖は寒かったのですが、子供達の笑顔とひたむきに創る姿勢に圧倒され、こちらも熱くなりました。宿題にしていた設計図を元に子供達の考えた生き物のストーリーをもとに、デジタル機器を駆使して具現化していました。いわば子供達がデザイナー、スタッフはその部品の製造部門といったところでした。授業当日、当初の設計図にはなかった部品や色彩など、子供達は想像を超えるアートを創りました。そして、子供達全員参加による素直でしっかりとしたプレゼンテーションは圧巻でした。あの日生まれた不思議な生き物達が玉川小学校の楽しいキャラクターになってくれる事を祈っています。

2013年11月15日(金) | 宮城県塩竈市立玉川小学校  
講師:和田 達也 (プロダクトデザイナー '81 PD)

普段身の回りにある車やテレビ、様々な道具がどのようにして出来ているのか? そのプロセスを学び、児童自らがプロダクトデザイナーになって、スケッチを元にグループで話し合いながら平面から立体へ、空想の中にある生き物を実際にカタチにしていきました。形をデザインし伝えることの面白さを体験しました。

## No.047

### 「ものものいきもの」



#### 児童感想:

もう使えなくなってしまった物でも新しい物の部分として使えることが分かった。仲間との共同作業が楽しかった。でき上がった作品を見た時は達成感でいっぱいだった。

#### 先生感想:

グループで協力してつくることの楽しさ、難しさを経験できたことがとても良かった。

#### 講師感想:

今回の授業が「モノ」と出会い、発想して作品を作るということで、実際にやってみないとどうなるか分からぬという部分が不安でした。授業が始まるとそんな私の心配はすぐに吹き飛ばされました。大人だとためらい真面目になりすぎてしまいがちですが、「そんなもの使っちゃうんだ!」という子どもの大胆さ、柔軟さに何度も驚かされ、6時間目まであったという間でした。モノのぴったりな使い道を発見した時のキラキラとした表情を見て、この授業をでき良かったと感じました。ユニークで遊び心にあふれていて、期待以上に自由で迫力のある作品が出来上がりました。子どもって本当に天才だ! と感動した一日でした。

2014年2月21日(金) | 東京都東大和市立第十小学校  
講師:富田 菜摘 (現代美術家 '09 油画)

身の回りにある使わなくなったプラスチック製品を材料に、ものの色や形から発想をひろげ、オリジナルのいきものをグループでつくりました。普段ならゴミとして捨ててしまうものもちょっと見方を変えるだけで、新しい価値が生まれます。作品をつくることを通して、いらなくなつたものへ新たな命をふきこむ楽しさを発見しました。



## アートとデザインの領域を超えて

ホームカミングデー | スペシャルトークイベント

会期: 2014年6月7日(土) 10:40-12:00

会場: 多摩美術大学本部棟3階大会議室

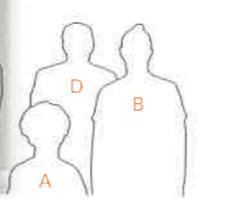
総合的な表現とは

- 上田雄三→ このスペシャル・トーク・イベントは2012年度にはデザイン系、2013年度にはファインアート系と交互に進めてきました。2014年度のパネリストの方々はデザイン系とファインアート系というと両方の領域に活躍されている方々、デザイナーであり、クリエーターであり、アーティストという、デザインとアートの領域を超えて活躍されている方々にお越しいただきました。

アートはどうしても社会との接点が限られている中で、個の表現を意識的に強く自力させる表現であり、デザインは社会のニーズを受け入れることでメディアの力を多く利用している表現と言えます。例えばポスターであれ、雑誌であれ、ミュージックビデオであれ、ファッションであ

【パネリスト】  
**A 大橋 歩 (おおはし あゆみ)**  
 1940年 三重県生まれ  
 1964年 油画  
**B 成田 久 (なりた ひさし)**  
 1970年 千葉県生まれ  
 1997年 染織  
 1999年 東京藝術大学大学院 修了  
**C 田向 潤 (たむかい じゅん)**  
 1980年 埼玉県生まれ  
 2005年 グラフィックデザイン

【オーディレーター】  
**D 上田 雄三 (うえだ ゆうぞう)**  
 ギャラリーQ / 校友会副会長  
 1951年 静岡県生まれ  
 1976年 グラフィックデザイン



### 『平凡パンチ』でデビュー

- 大橋 歩→ 卒業してちょうど今年で実は50年なのですけれども、50年間仕事を毎日しておりますので、その間にいろいろ仕事をさせてもらってきた。『平凡パンチ』(A)のカバーデザインの仕事は卒業した1964年の4月に『平凡パンチ』が創刊されまして、その表紙の絵を専属で1971年まで7年半させていただくことになりました。この時代というのがまた凄い日本でどんどん、色々な意味で経済も文化も活性化していく時代でしたので、仕事は面白かったのですけれど、時代と一緒に進んでいかなきやいけないという、若かったからできたような大変な時代でもあったと思います。この時の創刊号ですけれどデザイナーが参加してくれて、もっと面白い表現も彼が駆使してくれて、時代に遅れないような表紙になっています。実は私は1971年いっぱいで専属を下りまして、1972年からフリーランサーになって、それでいろいろと広告の仕事をさせてもらいました。そのため、よその出版社の仕事をもさせてもらうようになります。1979年に当時TDS(東京デザイナーズスペース)というグループがありまして、建築家とかグラフィックデザイナーとかファッションデザイナーとかカメラマンとか、色々な人が所属していたのですけれども、そのときのONE WEEK ONE SHOWのときに、突っ張ってファッションイラストレーションを見せようと思って、それでたくさん描いて見せたところ、ピンクハウスの金子功さんという方から、ブランドの仕事をしてく



A : 大橋 歩 | 平凡パンチ創刊号 |

れと頼まれまして、最初のピンクハウスのDMとかポスターにもなりました。その仕事も私は10年ぐらいで終わるのですが、ファッションの仕事がちょうど面白くなつた時代でもありました。

雑誌なんかの仕事もたくさんさせてもらいまして、それも好きなようにさせてもらって、1990年ぐらいまで、マガジンハウス『鳩よ!』の挿絵をさせてもらいましたが、1990年になるとバブルがはじけるというか、終わってしまって、それで私は年齢がもうかなり高くなってきてるので、プレゼンテーションでは若いイラストレーターには叶わず落ちてしまい、どんどん仕事も面白くななくて、それから自分で工夫して何か売り込みの仕事をするようになりました。その後、村上春樹さんの『村上ラヂオ』の簡単な挿絵を手掛けました、2000年になってからの仕事なのですから、今年(2014年)三重県立美術館で展示しました。

またアーティストとしての活動として「イシイクミコ展 at HOME」展を1990年までに何回か、70歳になるまで10回やろうと思ったんですけど、たぶん7回ぐらいで続かなくなってしまった。2000年に入って『アルネ』という雑誌を作りが始まって、あまりにも忙しくなってしまい、やっていくうちにアートができなくなって、2000年になってからは、ほぼこちらはお休みにしています。私の50年を見ていただきましたが、50年いろいろ仕事をさせてもらっていました。

### 資生堂でディレクターをしながらアートの活動

- 成田 久→ 現在資生堂でアートディレクターをしています。今は、資生堂で働きながら、キュキュキュカンパニーという僕のオペレーションが見れたり、触れたり、オーダーできたりというスペースを設立し、自分のクリエーションもしています。資生堂の仕事ではモデルや女優が出演している化粧品のビジュアルイメージを作るのが僕の仕事ですが、やっぱり僕はいつも仕事をしているときに、お客様がすごく共感し、またすごくはっとできるものを、と思っています。入社して3年目ぐらいの時に社内のコンペで、お正月に全国に貼られる化粧品店のポスターを制作しました。2003年なのでもう10年前ですね。「化粧月」という美しくて清らかなイメージを、伊東美咲さんを大きな椿の水引で作った髪飾りと、資生堂の花椿マークをあしらった半襟で表現しました。また、赤い毛せんの中、花椿マークをあしらった着物でも撮影しました。(B1・B2)



B1

B2



B3

B4

そして優香さんを起用したパルコの夏キャンペーンです。このキャンペーンはパルコとホリプロからお話を頂きました。優香さんがこの夏のキャンペーンガールに選ばれて、パルコは美しいナイスボディーな優香さんでプロモーションをしてほしいということで、女の子を絶対振り向かせる強いものにしたいなと思って制作しました。スイカをクラッチバッグのように持たせた新しい優香さんを“大人優香”として出したいなと思ってこのビジュアルと、CMの企画は全部絵コンテも描いて企画をしました。(B3・B4)

昨年の大河ドラマの綾瀬はるかさんが主演した『八重の桜』のポスター・ビジュアルの制作依頼を頂きました。僕はNHKがすごく好きで大河ドラマをよく見ていたので、綾瀬はるかさんが新島八重をやることで、彼女のイメージをがらっと変え、なおかつ全国の方に見ていただくものの最初のイメージを作らなきゃいけないということで、今まで一番緊張した仕事でした。プロモーションのイメージの企画をたくさん出した時に、凛として、桜の打ち掛けを羽織り、銃をかけた、意志のある女性を表現したい!と考えました。この桜を入れたピンクの打ち掛けはドラマ中には出てこないので、このビジュアルのために僕がデザインをしたものを作成していただきました。(B5)

ここまでがアートディレクションの仕事なのですが、アーティストとしての活動もしています。もともとは企画だけでなく手で作品を作ることが始まりだったので、いつも僕の作品のときは全部自らの手で作品を作っています。先日、キム・ソンへさんと「金とQの、狂った1LDK」という二人展をしました。彼女はお子さんがいて、ぬいぐるみで作品を作っている作家なので、今回はキッズとかベビーをテーマとして、僕とコラボレーションの展覧会をしました。アートディレクションとアーティストの自分がありながらも、いろいろなコンセプトに合わせて僕は毎回、作品を作っています。



B5

#### きゃりーぱみゅぱみゅのプロモーションビデオを制作

**田向 潤→** 学生時代、僕はグラフィックデザイン科なのですが、なぜか映像に興味を持ちまして、映像を卒業制作で作りました。当時『MTV』という音楽チャンネルを見て、そこでミュージックビデオをたくさん見て、映像は面白いなと思って、こういう絵と音がシンクロするような映像に興味を持っていて、そういう作品を作っていました。手作りの映像で、CGもよほいCGしか使えないで、飛び出すものとかはPhotoshopとかで描いています。7コマぐらいの絵で描き、飛び出す動きが作れるので、手作りで作っていました。

木村カエラさんの『Jasper』という曲のミュージックビデオです。これは監督は先ほど言いました中村剛さんという方なのですけれども、一応連名で共作という

形で参加させてもらって、映像クリエイティブ・チームCaviar(キャビア)という会社で当時に手伝わせてもらった作品です。撮影のディレクションはもちろん中村さんがしていて、現場には僕も行ったんですが、撮った後に、あとは2人で好きなように編集していいと言われて、CGを付けたりして編集したというような作品です。

続きまして、たぶん一番多くの方が知っているかなと思う作品で、きゃりーぱみゅぱみゅちゃんの『PON PON PON』(C)という曲のミュージックビデオです。僕がCaviar(キャビア)を卒業しますと言って、ちょっと猶予期間があったのですけれども、その間に仕事が来まして、知っているプロデューサーからご依頼をいただきて、田向君、辞めるのだったら最後に1人、2人組でそれまでやっていたんですけど、1人でやってみない? と言われて、ワーナーからデビューの女の子がいるのだけどと言われて、突然電話が来て、きゃりーぱみゅぱみゅという子なのだけどと言われて、誰ですかみたいな、そんな感じでした。

本当にこれがデビューの曲なので、まだ世の中の人は誰も知らないし、僕ももちろん知らなかっただし、そんな中でやらせてもらった仕事です。彼女はすごく面白い子だなと、いろいろな資料を見させてもらったのと、あと実際会ってみて何かすごくしっかりしているけど、自分の世界観みたいなものが不思議な子で、まだその当時、高校を卒業したばかりで、いい意味でまとまってない彼女の世界観みたいなものを、まとめてないまま出したみたいな感じのPVです。

続いて、Salyu(サリュ)さんのミュージックビデオ、『camera』という曲です。僕は今、お見せしているのはだいたいミュージックビデオなんですけれども、CMなんかもやっていて、広告の仕事をCMに限らず、ウェブムービーだったりとかをやっているのですけれども、これはちょっと変わった案件で、『MTV』がやっている、「ブランデッド・ミュージック・ビデオ」というもので、企業とミュージシャンが手を組んでミュージックビデオを作りましょうと。ミュージシャンはミュージックビデオを作



C

○：田向 潤 | きゃりーぱみゅぱみゅ | 「もったいないとらんど」 | @ Warner Music Japan Inc., 2013 |

●：成田 久 | 2003年 資生堂カレンダー「化粧月」 | B1・B2 : 2003年 パルコ夏のキャンペーン | B3・B4 : 2012年 パルコ夏のキャンペーン | B5 : 2013 NHK 大河ドラマ「八重の桜」 |

り、かつその中で企業が宣伝も兼ねているというようなミュージックビデオです。これに関してはCiaopanic(チャオパニック)というブランドがあって、そことSalyuさんのコラボレーションということで作りました。もちろんこれは出てくるSalyuさんの服、ダンサーの服はすべてCiaopanicの服でスタイリングしております。そしてCMの仕事もしています、コナミスポーツのCMです。結構美大生にはぐっと来る石こう像のダンスです。

今日のテーマでアートとデザインというのがあると思うのですが、僕は基本的に主戦場というか、やっているのはデザインというか、受注生産、依頼があって、その依頼に応えるために頑張るというような仕事の仕方をしていて、もちろんCMはそういうことで、結局賞を取ったりとか、あの出来栄えはすごくかっこよかったねとか言われることよりも、あの商品はすごく売れたよとか言ってもらえるのが一番本当はうれしい。これに関しては始めてCMを打ったというものもあるのですけれども、コナミスポーツはこのCMを打ってから、すごく会員数が増えて、体験入学みたいな体験の申し込みが2倍になったという、そういうのを聞くとうれしいですね。

●

上田 雄三→ アートの世界で言えば、皆さんご存じのように村上隆とか奈良美智とかもあります。デザインの世界では佐藤可士和があります。彼等もまた自分たちのイメージで売り込むというプランディングをしているかと思います。色んな意味で作品を制作し、デザインをしながらも色々な関わりでイメージを作っているかと思います。アートとデザインの領域を超えると言うことは、1つの生き方だけでなく、いろいろな複眼的な視点からもって、色々な社会を見るということでもあるかと思います。

田向さんがおっしゃったように、商品が次に売れていくことが非常に喜びとする。それも非常によく分かります。作品がさらに広がって社会に影響を及ぼしていく。皆さん自身が好きな仕事だという、しかし実は10年、20年好きでやっていくというのはとても大変だと思います。でも、そういった好きなことをするのが一番重要だと思うし、好きでないと続かない、先ほど成田さんが二兎追う者はと言いましたけれども、二兎追う者は三兎も得ることもあると思うし、やはりいろいろなものをポジティブに考えて自身をプランディングしていくことが大切かと思います。今日は皆さんのご活躍振りを見せていただいて本当に感謝しております。ありがとうございました。

# 第20回多摩美術大学校友会定期総会議事録

日時：2014年(平成26年)6月7日(土)12:10～13:30  
場所：多摩美術大学八王子キャンパス本部棟3階大会議室

【開会の挨拶】司会・進行：柏木弘(81染織)

【議長の選出】議長：齋藤敦子(91ID)

【書記の選出】議長：植村博(71彫刻)

議長より総会成立条件の報告

(議決権所有者16,913名中、出席者37名、委任状539名、合計576名)

会計	終身会費の「安定収入」が続いている	25年度予算	25年度決算	26年度予算
収入		3,410	3,734	3,620

入学と同時に新入生(=準会員)に終身会費を納めていただく「入学時一括予約」制が導入されて7年経ちました。安定収入が維持されています。終身会費收入は全収入の95パーセントを占め校友会運営の大きな支えとなっています。今年度の「入学時一括予約」による終身会費収入の累計額は3,345万円となりました。また「小品展収入」作品の売上金は946,600円でした。平成3(2001)年・平成4(2002)年の173万円をピークに減少傾向にありますが、前年度を48,751円上回りました。

会計	収支バランスに配慮した 予算配分としました	25年度予算	25年度決算	26年度予算
経費支出		3,524	4,276	3,873

卒業生数の伸びとともに校友会の活動領域も広がっています。会員の健全な維持・発展に向けて財務計画を策定しています。会費収入と約合いとのれた支出計画とすることにより会の持続的・継続的発展をめざします。

会計サービス	「ホームカミングデー」の開催	25年度予算	25年度決算	26年度予算
総会		422	364	358

「お帰りなさい卒業生」を合言葉に年に一度、卒業生が母校に集う「ホームカミングデー」。今年も八王子キャンパスを舞台にして土曜日の開催。学生気分に戻って久しぶりの土曜日の午後をお楽しみ下さい。

会計サービス	会報「alT」の発行	25年度予算	25年度決算	26年度予算
広報		397	405	355

タビマ卒業生をつなぐ情報誌として読みやすさ・親しみやすさを追求し紙面を充実させています。同窓会、小品展情報や助成制度のご案内などお役にたつ情報を満載して、今年もお届けします。どうぞお楽しみに(11月中旬の発行予定です)。

会計サービス	チャリティ展覧会「小品展」の開催	25年度予算	25年度決算	26年度予算
広報		192	178	192

売上の一部を「私費留学生奨学金」として贈ることを目的にしました。今年も東京神田「文房堂ギャラリー」で開催します。25年度は196名(24年度238名)の方が出席、136点を販売し、売上額は94万6600円(24年度89万9,849円)にぼりました。このうち25%を「奨学金基金」に納付、25%を「社企メセナ協議会」を通じて震災復興支援金として寄付しました。ご協力ありがとうございました。

会計サービス	「おとなの奨学金」(旧称「会員グループ支援」)	25年度予算	25年度決算	26年度予算
企画		50	50	50

意欲的に芸術活動に取り組んでいる卒業生を応援するプログラムとして平成22年度からスタートしました。昨年から新たな名前を冠して実施しています。昨年度は6グループの卒業生の方々がプログラムをご利用いただきました。展覧会、セミナー、出版、映像、舞台などさまざまな創作発表シーンにご活用いただけます。

会計サービス	あなたの近くの校友会～ 校友会支部からのご案内	25年度予算	25年度決算	26年度予算
企画		125	163	125

校友会には国内・海外あわせて25の支部があります(2014現在)。活動はそれぞれ独自性がありますが「人のつながり・地域のつながり」を大切にしながら卒業生交流の輪が広がっています。今年度、各地で展開する校友会イベント情報については「ごとの校友会」をご覗ください。

会計サービス	「エヒメノタマビ展」開催	25年度予算	25年度決算	26年度予算
企画		150	205	...

昨年の裏、8月14日から25まで愛媛県美術館で「エヒメノタマビ」展を開催いたしました。多摩美大初代校長の杉浦井水先生はじめ、愛媛県美術館が所蔵する多摩美大にゆかりのある作家11名と校友会愛媛支部メンバー20名の作品38点を展示し、大変意義のある展覧会が実現できました。入場者数1476名。8月17日には本学教授の本江邦夫先生の基調講演会が美術館の講堂で開かれました。

準会員/大学企画	学生(準会員)に向けた支援	25年度予算	25年度決算	26年度予算
		472	501	460

校友会では現役の学生(=準会員)への支援も行っています。1997(平成9年)度に校友会奨学金基金が創設され以来、多くの学生に奨学金を贈ってきました。2008年から新入生へスケッチブックを贈っています。昨年度は校友会オリジナルデザインによるスケッチブックを開発し卒業生にもお祝いとしてお渡しました。

社会へ寄与企画	社会に向けて「出前アート大学」など	25年度予算	25年度決算	26年度予算
		330	240	230

日本全国の小学校へ、卒業後社会の第一線で活躍するクリエーターと共に美術・デザインの授業を出前しています。2013年度は都内1校と震災被災地の小学校×1校の小学校へ出前授業を展開。今年度も2校へ出前授業を予定しています。

企画事業費	あなたが始めた「終身会費」は このように使われています	25年度予算	25年度決算	26年度予算
		2,018	2,070	1,984

卒業生の会である校友会は会員のみなさまからの「終身会費」によって支えられています。納めていただいた3万円は会報のお届けやマイページ情報サービス、会員や学生支援、社会貢献などに使われています。毎年の経費支出はその活動に直接的に寄与する「企画事業費」と間接経費である「一般管理費」に大別されます。このうち「企画事業費」の用途は、①会員の親睦・交流、②準会員・③大学の発展に寄与、④社会の芸術文化へ寄与の4つのジンバウの活動費に充てられ、それぞれの支出配分をおよそ①:②:③:④=3:1:1:1とすることを自らに事業計画を定めています。

## 【議案第2号 平成25年度決算報告】

- 平成25年度決算報告を柏木弘事務局長(81染織)より説明。
- 監査報告を監査担当の松下宣廉(69日本画)理事より説明。
- その後議長が質問を受け付けたが、質問がなく拍手多数によって議案第2号は承認された。

## 【議案第3号 平成25年度役員改選(案)】

- 柏木弘事務局長(81染織)より説明。
- 退任理事 岡田忠明(75日画)・松下宣廉(69日本画)理事より説明。

就任理事 庄山晃(69演劇)・山本博子(74GD)

就任役員 寺内隆(72ID)

■質疑 大阪支部長：名取久子(65国画)

岡田忠明会長が辞任された理由及び次期会長の改選時期について質疑あり。

□応答 柏木弘事務局長(81染織)

目標としては来年の総会までに新会長を選出する。

辞任理由は「一身上の理由」以上の説明は頂いていないと応答。

■質疑 愛媛支部長：遠藤貢司(81油画)

会長は平成26年度名簿掲載の理事メンバーからの選出になるのかとの質疑あり。

□応答 柏木弘事務局長(81染織)

過去に、理事会にて頂いた上で理事会にて互選し、

会長に就任頂いた事があるため、平成26年度名簿掲載の理事会メンバーからの選出だけではないと応答。

○その後議長が質問を受け付けたが、質問がなく拍手多数によって議案第3号は承認された。

## 【校友会からのお知らせ】

- 柏木弘事務局長(81染織)より説明。

住所変更／情報提供／正会員カード／名簿リスト・宛名シール／大学セミナーハウス利用(改築工事の為一定期間封鎖)等のお知らせを行った。

■発言 渡辺達正(70油画)さんから、2015年多摩美80周年に向けての校友会の企画に期待していると発言あります。

□応答 齋藤敦子(91ID)

今年度は非常に重要な年である為、会員・理事双方で大学と連携しながら進めていきたいと応答。

○以上で議長が全議案の可決成立を報告し、第20回定期総会の終了を宣言した。

## 【平成25年度 事業内容の報告】

### ●2013年(平成25年)

04月01日 平成24年度多摩美術大学校友会奨学生成果報告展(4.1-6八王子キャンバス 4.2-13上野毛キャンバス)

04月04日 入学式祝辞：内原智史(美術学部・大学院)

04月04日 八王子キャンパスの新入生へスケッチブックを贈る

04月05日 入学式祝辞：菜師寺宏子(造形表現学部)

04月06日 上野毛キャンパスの新入生へスケッチブックを贈る

05月11日 第108回理事会

05月21日 学内幹事会“春”(八王子キャンバス)

05月28日 学内幹事会“春”(上野毛キャンバス)

06月01日 第19回定期総会

06月01日 第19回支部長懇談会

06月01日 スペシャル・トーク・イベント

石内都×笠原恵実子×飯田志保子×町田久美

「国際的なアーティストになるために-To Be an International Artist-」

06月01日 慶親会バー

06月01日 私費留学生奨学金を5名に給付

07月13日 第109回理事会

# 事務局からのお知らせ

## 退職された先生方

長い間、本当にありがとうございました。

小林敬生先生(版画)・黒川晃彦先生(彫刻)・竹田光幸先生(彫刻)・  
十文字美信先生(GD)・青野聰先生(共通)・大道文子先生(共通)・  
ロジャー・バーナード先生(共通)・大津英敏先生(造形)・  
福島勝則先生(映像演劇)・檜垣檀先生(TD)

## 訃報

### 清田 義英

多摩美術大学前学長  
07年～11年 学長 | 11年～ 名誉教授  
(2014年9月28日逝去)



多摩美術大学清田義英前学長が、  
2014年9月28日にご逝去されました。  
心よりご冥福をお祈りいたします。

### 辰野 登恵子

美術学部絵画学科油画専攻教授  
(2014年9月29日逝去)



美術学部絵画学科油画専攻  
辰野登恵子教授が、2014年9月29日にご  
逝去されました。心よりご冥福をお祈りいた  
します。

## ご逝去された方々

謹んでご冥福をお祈りいたします。

新井 透浩 ('90油画)

井下 隆二 ('61図案[平面])

内田 裕子 ('91油画)

木村 隆 ('54油画)

黒川 潤 ('08油画)

柴田 廣治 ('51油画)

高木 正一 ('82建築)

高村 匠 ('78建築)

滝沢 弘道 ('68日本画)

武市 義孝 ('58油画)

田中 陽子 ('99インテリア)

田渕 幸俊 ('51図案)

野口 貞義 ('59図案[立体])

彦坂 玲子 ('06工芸)

広瀬 学 ('81デザイン)

堀 友三郎 ('45図案)

松岡 秀夫 ('78建築)

水越 浩之 ('65映画)

三橋 岩雄 ('57油画)

糀江 隆 ('63写真)

渡部 仁 ('64写真)

敬称略・2013年10月～2014年9月  
お知らせのあった方の掲載（五十音順）

## 正会員カード

「正会員」には「正会員カード」を発行しています。まだ十分ではありませんが、数々の特典もあります。今後は特典をさらに増やすべく理事会でも努力をしてまいります。

### 正会員カード特典先を募集中！

校友会では、「正会員カード」の特典を広く募集しています。美術やデザイン関係に限らずレストランやカフェ、その他のショップ等でも使用できる特典を募集しています。ご自身やご親戚、お知り合いの方で費用できると言う方をご紹介頂ければ幸いです。交渉は事務局が致します。まだまだ特典としては十分とは言えず特に地方が手薄です。積極的に募集活動をして一層の充実を図り魅力的な「正会員カード」として常に携帯して頂けるようなものにしたいと考えています。



## [投稿 お便りを頂きました！]



卒業してから55年。図案科22期1959年卒業の同期会を毎年行っています。来年は多摩美術大学の創立80年ということでその卒業生も80歳になります。多摩美の八王子キャンパスを見学し、皆、多摩美は凄いという誇りを持てた楽しい同期会でした。['59図案(平面) 稲垣行一郎]

## [名簿リスト・宛名シール提供について]

校友会では2002年以降、名簿の発行をおこなっていませんが、同窓会、グループ展など有志活動の際は名簿リスト、宛名シールを無料にて提供しております(個人情報保護方針に定める方法により、個人的な使用目的には対応していません)。なお、外部業者によって「多摩美術大学同窓会名鑑」などのタイトルで名簿が販売されることがあります。校友会とは一切関係ありませんので、ご注意ください。

## [編集後記]

今年は相次ぐ自然災害に見舞われ、被害の大きさに心を痛める日々が続きました。来年は大学80周年、校友会20周年と節目の年を迎えることになりますので、今後多くの卒業生の皆様より更なるお力添えをいただき活動していけばと思います。

多摩美術大学校友会会報 | 編集: 児嶋真作・山本博子・上田雄三・柏木弘・齋藤敦子・矢野英樹・

『アルティ』20号 | 斎藤路子・大間々溪子

発行: 多摩美術大学校友会

スペシャルサンクス: 伊藤憲夫 | デザイン: 加藤勝也 |

発行日: 2014年11月20日

写真: Bozzo | 印刷: 有限会社グラフィックケイ・エム・エー